

アーバンリング工法®

適用圧入径φ3.0M～15.0M

適用圧入深度70M程度

(立坑・基礎・駐輪場)



近年都市部における地下空間利用は目覚ましいものがあります。ただ都市部であるが故に工期、施工ヤード、周辺環境などの厳しい施工環境への対応が要求されます。アーバンリング工法とは、そのような環境を配慮して開発された地下構造物構築工法でアーバンリング（分割組立型土留壁）を用いた多目的なシステム工法です。

加盟団体：[アーバンリング工法研究会](#)、[VSL協会](#)

アーバンリング工法の4大特徴

- 1 周辺地域への影響が少なく、安全・確実
地盤改良が不要で、掘削時の坑内は無入です。周辺環境と作業現場に優しい安全・確実な都市型工法です。
- 2 狭隘な施工ヤードに柔軟に対応
施工ヤード幅・面積などの制約条件に柔軟に対応できる都市型工法です。
- 3 路下・上空制限にも対応できる。
高架下での施工にも対応できます。
- 4 ビルトリング方式で機動性に優れている
道路上での一時占有帯による施工が可能で、交通ピーク時は道路開放ができます。

使用部材

用途に応じて2つの部材をご用意しております。



鋼製施工

部材が小型軽量であり、任意の径で施工可能です。

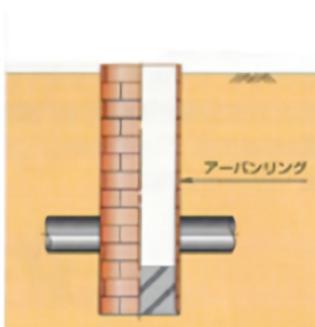


RC施工

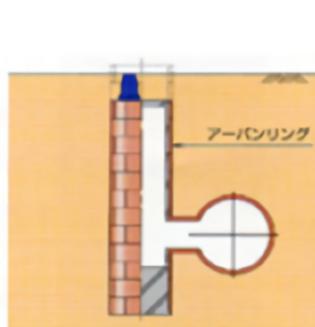
直接本体利用できるため、急速施工が可能です。

用途

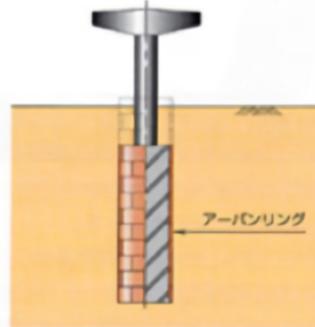
立坑



人孔



橋梁下部工



橋脚補強

